

godding community

# 「ひとりの思いを大切に」

～主となる事業所の役割と専門相談員との連携～

特定非営利活動法人ゴウディングコミュニティ  
多機能型事業所 ごうでいんぐ原田

○三輪光司 萩原寿子 後藤真由美 海老澤政昭



# Aさんについて

- ・小学6年生からパニックが激しくなる⇒自宅で物を壊す
- ・中学以降⇒唾吐き、他害が増える



自閉症の診断を受ける

- 高等部へは、B学園より通学



- 卒業後もパニックが増える



- 3ヶ月入院（投薬の適性を図るため）

# 目的

障害者へのサービス支給決定プロセスの見直し



平成24年4月 ➡ 計画相談の拡充



しかし・・・

事業所作成の個別支援計画とサービス等利用計画における、本人のニーズ解決に向けた取り組みはまだ、手探りの状態。

そこで…

見かけのニーズの裏に隠された真のニーズを模索する必要性

「一人の思い」をいかに大切にし、関係機関等の連携によって実現していく重要性

専門相談員との連携を進める中で、

「ひとりの思い」の大切さ

主たる事業所及び専門相談員の果たす役割を明らかにしたい。

# 経過

本人のニーズに隠された  
真のニーズとは何か。

・本人のニーズ 「ショートに行きたい」



・なぜ、ショートに行きたいの？



・「家にいたくない」



・なぜ、家にいたくないの？



・「わからない」

## 経過からの推測

家にいたくない原因を探るよりも、 漠然とした  
“嫌な気持ち”を捉える**勇気の必要性**

経験の蓄積によって複雑に絡んだ状態をほぐすこと  
よりも、 漠然と”家はいいな”（安心できる居場所）に気  
付くことが大切ではないか。

# 家族との連携

～連携を通して家族の空気を変える～

自宅で大暴れ



父親から連絡；事業所を休ませる



家庭訪問



(本人納得の上)事業所へ通所

本人及び家族からの状況聴取



本人には

”よく話し合い、筋道を立てて整理していこう”の確認

両親には、

”事業所においても起こるだろう“＝事業所をやめねば  
ならない、ではない。



”安定した気持ちで本人に接すること”の確認



専門相談員との連携へ

# パニックの増大

事業所の送迎車輛の中で大パニック



緊張の糸が切れる？

事業所及び家庭でのパニックの増大へ

事業所における襖の破損



そこで、

家庭での1週間の様子を記録すること



週末に事業所の様子と突合せするための面接の設定

# 家庭内での対応の限界

## ～ケア会議の設定へ～

- ・仲間たちの中で本人の願いを確認する。
- ・願いを実現していく。



話し合いの設定。(仲間の会)  
本人の願いは、みんなの願い。



ケア会議の設定へ。

# 緊急一時保護実施

## 家庭での対応の限界



- ・緊急一時対応として、ロングショットの設定へ。(当面、3ヶ月)

- ・月に一度の情報交換

(主たる事業所・ショット事業所・行政・専門相談員・両親)



「一人の思いを大切に」 ひとりの願いはみんなの願い



# 家族会議の開催

両親の思いを伝える。(以前のように) しばらく会わないことの確認



”本人にとっての真の快適な、心休まる居場所は家庭である“ことの再確認



本人の居場所と本人以外の人たちの  
活動場所を行き来する。



“人と関わる楽しさ”

# 成果と課題

## 家族の変化

”自分自身変わったかもしれない”という親の自覚



家族内に流れる空気の変化



本人に対する影響

～今までの親とは違うかな、という漠然とした受け止め



主たる事業所作成の個別支援計画と専門相談員作成  
のサービス等利用計画のつき合せの必要性

ひとりの思い・願いを関係機関で共有



必要に応じてケア会議の設定



# ケア会議を受けて

- ・主たる事業所は全体計画の立案
- ・専門相談員は具体的行動計画の立案

# おわりに

- ・1年かけてD事業所に完全復帰
- ・自ら気持ちをコントロールすることの増大
- ・家族に対する漠然とした嫌悪感から、  
「おかあさん、好き」
- ・悶々とした空気が次第に晴れていったので  
はないか。



*godding community*

ご清聴ありがとうございました

